

順位	氏名（議席）	発言の要旨
15	小野 泰正（6）	1. 富士市の持続可能な観光と環境保全のための登山道等の整備について 海から富士山までである唯一の市として、多くの方に本市の魅力を知ってもらうため、平成27年7月に富士山登山ルート3776を制定し、昨年も520名もの達成者が出ました。また、今年から富士山登山に入山料が4000円かかるようになったことから、富士山周辺での低山ハイクも人気が出てきており、富士市でも多くの観光登山客を見かけるようになりました。一方で、登山客が増えたことに加え、近年の大雨により多くの登山道で浸食や崩落が起き、傷んできているところが見られます。ルート3776で例示しますと、3合目付近に当たる富士山自然休養林ハイキングコースのBコースでは、崩落が起り一部区間が通行止めになっています。また、Cコースでは、登山道部分が水路になってしまい、近くの歩けそうなところに新たな登山道ができてしまっています。このように、登山道の管理整備がうまくいっていないことが原因で、国立公園であるにもかかわらず、観光登山が原因で環境破壊が起りつつあるという状況です。そこで以下質問をします。 (1) ルート3776をはじめとした富士山自然休養林ハイキングコースや登山道の管理の現状と課題、管理体制はどのようになっていますか。 (2) 他市では、登山道の整備技術方針や観光登山ガイドラインなどを作成し、観光客、市民、企業などの団体やボランティアが国縣市と共に環境保全とともに登山道の整備を行っている事例が見られますが、富士市では行えないのでしょうか。 (3) デジタル技術を用いることで、クラウドファンディングによる登山道等の整備費の受付や、オンライン決済による入山料の徴収、入山届の電子申請や観光情報の提供、登山者側からの危険箇所の報告など、観光の利便性の向上や安全性の確保と、環境保全を両立させる取組は考えられるでしょうか。

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨
16	杉山 諭（24）	1. 富士市職員による業務中の交通事故への対応について 富士市職員による業務中の交通事故への対応について、特に、昨年度からの新環境クリーンセンター職員が運転する市有車両（塵芥収集車）による交通事故発生状況と対応について、以下同う。 (1) 市有車両（塵芥収集車）による昨年度からの業務中の交通事故件数はいくつあるか。 (2) 市有車両（塵芥収集車）による交通事故件数の現状をどう考えているか。 (3) 市有車両（塵芥収集車）による交通事故の分析と対応についてはどうか。

順位	氏名（議席）	発言の要旨
17	萩野 基行（12）	1. 保護者等からの学校への問合せを外部委託することについて かねてより、教職員の長時間労働や様々な精神的負担が問題となっている。その要因の一つが保護者からの問合せへの対応で、教職員が精神を病んで休職してしまうことも少なくない。本来、教職員は児童生徒に寄り添い、教育環境を整え、学習指導を行うという職務に集中すべきであるが、その対応に追われ、多忙を極めている事例もある。 そのような中、2025年8月に文部科学省は、保護者等からの過剰な苦情や不当な要求への対応を「学校以外が担うべき業務」と位置づけた。これは、教職員の保護だけではなく、児童生徒が受けられる教育の質の向上にもつながると思われる。 そこで以下について伺う。 (1) 保護者からの問合せに対する教職員の負担感について伺う。 (2) 精神疾患が要因と思われる教職員の休職者数について伺う。 (3) 教育の質の向上や保護者からの問合せへの迅速で的確な対応のため、外部委託を導入してはいかがか。

順位	氏名（議席）	発言の要旨
18	鈴木 幸司（16）	1. 富士市の空き家対策及び空家等管理活用支援法人について 市は、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、川成島地区の建物を「そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態又は著しく衛生上有害となるおそれのある状態、適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態その他周辺的生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態にあると認められる空家等」と定義される、いわゆる特定空家に認定したが、その所有者等を確知することができないため、令和7年6月6日に公告し、この8月に略式代執行による解体処分を行った。個人の財産に関することでもあり、こうした一連の行政行為に瑕疵がなかったことを確認するとともに、2023年（令和5年）に新たに創設された空家等管理活用支援法人制度について、以下のように伺う。 (1) 今回、略式代執行に至った経緯を伺う。 (2) 市が負担した費用はどのくらいか。 (3) 現在市内にある空き家の数について伺う。 (4) そのうち、特定空家と認定されたものの数について伺う。 (5) 空家等管理活用支援法人制度の概要を伺う。 (6) 富士市における空家等管理活用支援法人の指定状況について伺う。 2. 水害常襲地域における都市公園予定地について 市街化の進展や局地的な集中豪雨の増加により、内水による浸水被害の発生が目立つようになり、市は富士市内水（浸水）ハザードマップを公開し、市民に注意を促している。 また、2020年（令和2年）8月、宅地建物取引業法施行規則が改正され、宅地建物取引業者には、売買前に、水害ハザードマップにおける対象物件の所在地を事前に説明することが義務づけられたが、知らずに買ってしまったという消費者からの苦情が寄せられている。災害図上訓練DIGの考案者である常葉大学社会環境学部防災・地域安全コースの小村隆史准教授は、こうした状況に警鐘を鳴らすべく、本年11月に市内で「子育て世代のための安心敷地選び講座」を開催する準備を進めている。小村准教授は古い地名に注意を払いましょうと、これから土地を買う方々に呼びかけている。 今回は道路冠水に悩む伝法滝下区の住民に伺った話を基に質問をしたい。滝下という地名が表すように、そこは0.5メートルから1.0メートルにかけて、浸水のおそれがあるとハザードマップ上に書かれている。そして、昭和40年に都市計画決定された石坂公園の予定地でもある。このことを踏まえ、以下のように伺う。 (1) 水害常襲地域の宅地建物取引においては、どのような指導をしているのか。 (2) 公園予定地に建築行為が行われる場合、どのような制限があるのか。 (3) 冠水が常襲する伝法滝下1号線には、どのような浸水対策が取られているのか。 (4) 現在、伝法滝下3号線を流れる雨水が、伝法滝下1号線を流れる雨水と合流することにより、住宅浸水の頻度が上がっているが、このことへの対策について伺う。 (5) 伝法滝下3号線と伝法滝下1号線の間にはまだ宅地化されていない土地が広がっているが、防災力を高めるためのグリーンインフラとして整備してはいかがか。

順位	氏名（議席）	発言の要旨
19	笹川 朝子（13）	1. 本市の公共下水道事業におけるウォーターＰＰＰ導入の問題点について 国土交通省は、下水道についてウォーターＰＰＰ（パブリック・プライベート・パートナーシップ）を導入しなければ令和9年度から国費支援を打ち切る、導入すれば支援するとして、補助金を利用してウォーターＰＰＰを強めに広めようとしています。本来は自治体ごとに決めるべき内容であるにもかかわらず、ウォーターＰＰＰへ強引に誘導しています。 本年1月に埼玉県八潮市で発生した下水道管の腐食が原因と見られる道路陥没事故では、トラック運転手が巻き込まれて亡くなり大きな衝撃を与えました。埼玉県知事は、下水道に対する国の財政支援について、ウォーターＰＰＰを前提条件としない制度設計を要望しています。 市は、ウォーターＰＰＰに移行しないと国からの補助金がカットされるとして、令和8年1月から下水道事業にウォーターＰＰＰを導入することを決め、進めています。現在実施している包括的民間委託（レベル1～3）を、令和7年度業務委託契約更新時にウォーターＰＰＰ（レベル3.5）にレベルアップすることで、施設老朽化対策の推進、災害対策の強化、ライフサイクルコストの縮減で持続可能な下水道経営の実現を目指しています。 ウォーターＰＰＰ（レベル3.5）は、管理・更新一体マネジメント方式で、①長期契約（原則10年）、②性能発注、③維持管理と更新の一体マネジメント、④プロフィットシェアの導入を要件としています。 管理を委託された企業が、行政と同等の設備の維持・更新費用を維持する保証はありません。むしろ、利益を最大化しようとするれば、できるだけ支出を減らそうとするでしょう。下水道に詳しい専門職の採用も縮小し、職員数も減らされるでしょう。ウォーターＰＰＰの導入は、下水道事業の基盤となる設備、人の配置を脆弱にするのではないかと危惧します。 国土交通省は、埼玉県八潮市の事故を受け、3月に下水道を管理する自治体に重点調査を要請しました。 下水道は生活する上で欠くことができない大事なライフラインであり、日々の点検・補修、災害時の対応などが求められます。憲法25条は1項の生存権の保障と2項の公衆衛生向上について、国の責任をうたっています。 地方自治を守る立場で以下質問します。 (1) ウォーターＰＰＰ導入スケジュールについて ① 優先交渉権はどこが得たのか。 ② 基本契約の締結はいつ頃か。 (2) 管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5）の4つの要件は具体的にどのようなものか。 (3) 管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5）からコンセッション（レベル4）への移行はあるのか。 (4) 市との関係について ① 市の職員配置はどう変わるのか。 ② 点検・監督体制はどうなるのか。